

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	団員報酬・出勤費				
担 当 課 係 名	環境防災課 課		交通防災 係	作成者	石川一幸
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画の ページ
	基本計画	消防体制の充実と消防団の育成強化			
	主要施策	市消防団の組織強化			86
予 算 費 目	一般 会計	9 款 消防費	1 項 消防費	2 目 非常備消防費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市消防団の設置に関する条例 / 仙北市消防団員の定員任免給与服務に関する条例				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	消防団員
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	消防団員の充実及び団員の育成
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	消防訓練大会の開催、被服の貸与、報酬等の支払い

【事務事業の推移】

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
効果	活動指標	目標	767	767	767
		実績	641	635	632
		達成度	83.6%	82.8%	82.4%
	成果指標	目標	0	0	0
		実績	14	12	13
		達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事業費（人件費を除く）(A)		52,089	44,028	41,278
	人 件 費 (B)		6,282	6,457	6,340
	職 員 数		0.80	0.80	0.80
	職 員 平 均 人 件 費		7,853	8,071	7,925
	(A) + (B) 投下コスト		58,371	50,485	47,618
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
		一 般 財 源	58,371	50,485	47,618
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		91,062	79,504	75,345
	市民1人当たりのコスト(円)		1,830	1,606	1,534

【事務事業の今までの成果】

若者の入団者は減少しているが、災害時には率先して出動してくれている。	
------------------------------------	--

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	近年、女性消防団員を採用している自治体も増えている
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	市民の防災に対する(消防団)に対する期待は大きい

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続(実施)	組織としての消防団は重要である
	B 1 見直しの上で継続(拡大)	
	B 2 見直しの上で継続(手段改善等)	
	B 3 見直しの上で継続(縮小)	
	C 1 大幅な見直しの上で継続(拡大)	
	C 2 大幅な見直しの上で継続(手段改善等)	
	C 3 大幅な見直しの上で継続(縮小)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	
	E 終了(完成及び目的を達成し終了した事業)	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	地域住民の生命及び財産を災害から守るため重要な役割を担っていますが、全国的な傾向と同様団員の減少や高齢化が進んでおり、組織強化のための工夫を図る必要があると考えます。

